




会議等結果報告書		報告者	平成22年1月15日 主任主査 田口 悟
決 裁 欄	理事兼事務局長  総務部長兼 建築整備課長 		
件 名	平成21年度 第12回施設整備専門委員会 (音楽学部棟第8回)		
日 時	平成22年1月13日 (水) 午後6時10分から午後8時30分まで		
場 所	芸術大学 3階 大会議室		
参 加 者	芸術大学 長谷美術学部長、戸山音楽学部長、福本先生 他 計10名 管理課 大久保課長、高瀬主任主査、大谷主任 公立大学法人 山田総務部長、田口主任主査 日建設計(株)  学事振興課 山下主任主査 公共建築課 林主査		
内 容			
<p>○ 要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの最終確認 ・オプションを除いた総工事費は約28億円となっているが、資材の下落傾向等により25億円以内に収まると見込んでいる。 ・次回、1月20日(水)は開催しない。 ・細部については、1月21日(木)に音楽学部の先生・学生と日建設計が調整 ・3月上旬に基本設計としてまとめ、成果品を提出 <p>○ 会議内容</p> <p>【長谷先生】 前回の整備委員会で、1月に2回開催する予定としたが、今回、案がほぼまとまってきたので、特に大きな変更がない限り今回で一区切りとし、次回1月20日は開催しないこととしたい。</p> <p>【日建設計】 これまでの打合せで、内容がほぼ固まってきたので概算工事費を算出した。 総工事費は、約28億3600万円となっているが、仕様やスペックが未確定であるので、標準的な単価を想定して積み上げたものである。 建築資材価格は下落傾向にあるので、25億円に収まるものと考えている。 なお、オプションについては、LED照明は、イニシャルコストがかかるため、省電力、長寿命を考慮しても、トータルの経費節減にはならないと思う。 ガス管引き込み工事については、今回の音楽学部棟だけではなく、今後の他の施設の建て替えの際に都市ガスの導入を容易にできるように容量を確保しておくものである。 太陽光発電については、投資額を回収するのに50年はかかるとみられているの</p>			

で、エコを考慮しているという姿勢を示すこと以外には、実質的にメリットはない。

【林主査】

今回、日建設計から約 28 億円で示されているが、県がこの額を認めたものではなく、この内容であれば 25 億円以内に収まるものとしてできるであろうと考えているということである。今後、詳細設計の中で、25 億円に収まらないようであればグレードを下げる等の必要がある。

また、オプションまでは難しいと思う。

【長谷先生】

LEDや太陽光は、ランニングコストを考えると、トータルで安くなることもあるのではないかと。

【林主査】

県の財政課としては、厳しい財政状況の中、当初の必要額を少なくしようとするので、イニシャルコストが安い方を選択することになる。

【掛谷先生】

コンピューターグラフィックの絵は、校舎に色がついていないが、どのように考えているのか。

【日建設計】

詳細設計で検討していくことになる。

〈建設工事基本スペック〉

【日建設計】

外壁のタイルは貼り付けるのではなく、引っ掛けてとめる方式を予定している。このほうが、経年劣化によりはがれて落下するようなことがなく、また、空気層ができることから、断熱効果もある。

【掛谷先生】

エレベーター（内寸 幅 160 cm×奥行き 190cm×高さ 210 cm）はフルコンのピアノ（フルコンサートで使用するような大き目のグランドピアノ）が入るのか。

箱の中で斜めにすれば入るのかもしれないが、台車も必要となるので、楽器点に確認してほしい。

標準は3のサイズ（幅 149 cm×奥行き 186 cm×高さ 101 cm）だが、最大7のサイズ（幅 155 cm×奥行き 227 cm×高さ 102 cm）は奥行き 2 mを超える。

【日建設計】

エレベーターは特注なので、変更可能。

【戸山先生】

内装で、レッスン室の床がビニル床シートとなっているが、フローリングとして木の上にピアノを置きたい。

【掛谷先生】

音響も木のほうがよいのではないかと。また、ビニルだとピアノ等を動かすとたわむ。

【戸山先生】

フローリング以外に、硬い材質のものはないのか。ビニルは波打つ。ビニルシートよりビニルタイルの方がいいのではないかと。

【福本先生】

内装について、床、壁、天井をこの材質にした理由を教えてください。

【長谷先生】

フローリングといっても、しっかりとした厚みのある木材使ったものから合板に厚さ 3 ミリ程度の板を接着したものまである。

【日建設計】

合板を考えている。

【山本先生】

録音スタジオは、フローリングではない方がよいのではないかと、寺井先生に確認する必要がある。

【林主査】

工事の概算額を出す上で、標準的な材質等をベースとした。全体の中で余裕ができればフローリングも対応可能となる。

【白河先生】

優先順位を検討していく必要がある。

〈電気設備工事基本スペック〉

【掛谷先生】

電気設備でH I Dとはどのようなものか。

【日建設計】

非常に高効率のランプであり、水銀灯やハロゲンランプのようなものである。欠点としては、調光できないこと（電圧や電流を変えても一定の明るさを保つ）と一度消灯すると再点灯まで5分くらいかかることである。ちなみに室名等のホールとは室内楽ホール、オペラ・合唱室、大演奏室をさす。

【戸山先生】

電気のホール特殊設備で舞台照明設備ライトバトンの本数はどのように決めたのか。

【日建設計】

床面積による。

【戸山先生】

舞台照明としては、オペラ・合唱室は必要だが、室内楽ホールはどうか。3本を2本でいい。

【日建設計】

カードリーダーの機器については、大学側で別途用意(予算化)することとなる。学生証を利用することとなると思うので、そのカード化も必要。将来の機器の更新等費用がかかるので、どこまで導入するか大学で検討が必要。

【長谷先生】

LEDについては、建設工事が2年後なので、それまでには値段が下がるのではないかと。

【林主査】

白熱灯は、将来的にはなくなるのではないかと。

【福本先生】

ライトボタンについて、必要性はどのように考えているのか。

【日建設計】

スポット的に上からと前方からの2本で光を当てる。室内楽ホールについては、きちんとしたものとして、他は簡易なものを考えている。

【福本先生】

大演奏室は、ライトボタンはなしでもよい。

【白河先生】

室内楽ホールよりオペラ・合唱室の方が複雑な照明が必要である。

【戸山先生】

前方からのライトについては、現在、手動式のものがあるのでそれを使えばよい。

【掛谷先生】

ライトボタンに取り付けられるのは、白熱灯か。

【日建設計】

その予定である。

【掛谷先生】

1本800万円くらいになるのではないか。

【福本先生】

ライトボタンを削れば、レッスン室のフローリングができる。

〈機械設備工事基本スペック〉

【日建設計】

空調の夏期の湿度については、エアコンの冷房によりある程度下がるので、別に湿度調整は行わない。冬期については、加湿を行う。

【白河先生】

衛生器具で、便器について、和式の要望があった。洋式で接するのを嫌う学生がいる。

【福本先生】

トイレ数の多いところは1つ和式にすればよい。

【日建設計】

洋式の場合、配管を壁に行うことができるので、たとえば改修や修繕のときに下の階に影響なく工事がしやすい。和式は、配管が床下になってしまうことがある。

【長谷先生】

一般的に洋式が標準であろう。

【林主査】

洗浄式は、財政的に難しい。コンセントのみ用意しておいて、将来的に対応ということになる。

【戸山先生】

校舎の熱源設備についてはガスとなっているが、そうした理由は何か。

【日建設計】

出力や使用時間等を考慮して、電気よりガスの方が安い。

【林主査】

県への予算要求上、室内楽ホールを練習ホールという名称で県へ報告したい。

練習ホールであれば授業等で使用するという事で説明不要だが、室内楽ホールとして観客席があると、私としては観客の前で演奏することも授業の一環として理解できるが、財政課としては音楽ホールは認めないというようなことを言われ、説明等、余計な労力が発生するおそれがある。

実態としては室内楽ホールであることに問題はないので、名称のみ練習ホールとして県へ報告することをお願いする。

【長谷先生】

新音楽学部棟の基本設計について、今回で一区切りとする。

詳細については、音楽学部の先生方と日建設計で詰めてもらうこととして進めてほしい。

次回、1月20日(水)は、施設整備委員会は開催しない。

【福本先生】

音楽学部での打合せは、1月21日(木)に行う。

【日建設計】

その打合せに伺って話を詰めたい。

以 上